

Harmony

仙台市立錦ヶ丘中学校 第2学年通信

No.35 令和3年1月29日(金)



仙台市では全ての中学校に ALT が 1 人配属されていますが、現在コロナの影響で、ALT が不在の学校も何校かあります。いろいろな国の ALT をお招きして国際交流会を実施したかったのですが、今回はコロナ事情でそれを断念し、27日(木)学活・総合の時間に我が校の ALT エリック・プロヴォ先生(カナダ出身)の協力で講話を実施しました。仙台在住の ALT 15 人をお願いしたアンケート「日本の生活でのいい経験・悪い経験」の回答を基に、文化の違いや考え方の違いなどをまとめました。将来、グローバルコミュニケーションが必要になる子ども達にどのように伝わったのか、何人かの振り返りシートをご紹介します。

「国際理解の学習を通して」

今回の国際理解の学習から気づいたことが多くありました。身近では昔よりも最近では外国人が増えていると感じていましたが、思っていたよりも少なく2%(仙台市)しかいないことにびっくりしました。日本や日本人のいい所と共に悪い点や課題も見えてきたと思います。いいエピソードから、進んで言語の違う人にも話しかけている人がいて、いいと思いました。悪いエピソードからは、やっぱり日本人の偏見や好奇心から多くの外国人を傷つけてしまっていることがわかりました。話しかけられる人と話せない人の差は、異なる文化の人との接し方や理解の差だと思いました。ALT などの外国の人から良いエピソードをたくさんあげてもらえるためにも、まずはこちらから異文化のことを知ること、知る姿勢になる事が大切だと思いました。また、サポートなど外国人を受け入れやすくするための助け、支えなども積極的に行動することが大切だと思いました。サポートを整えれば2%からもっと外国人を増やすことができるのではないかと思います。私はもし、町中で外国の人に話しかけられたら、すぐに答えられる自信はありませんが、その人にいいエピソードを残してもらえよう、外国のことを勉強しておこうと思いました。



国際理解の学習を通して ALT の方々が日本人に対してどのように思っているのかを知ることができました。話を聞いていて、悪い点については自分のことを明らかに見てきたり、決めつけられたりするという点がありました。「外国人だから」という理由だけで勝手に悪い偏見を持つのはよくないと思いました。外国の方と実際に会ったり話したりする機会はあまりないと思うけど、もし私がその相手の立場だったらということを考えて行動していきたいです。また、自分がされたら嫌なことなどは絶対にしないようにしたいと思います。私たちにできることは、外国人に対して決めつけないことだと思います。そして、お互いの国の文化や宗教などを理解し合って生活をしていくことが大切だと思いました。エリック先生、櫛田先生、今日はお話を聞かせてくださりありがとうございました。これから外国人に接していく上で勉強になりました。Thank you!!

今日の学習を通して、外国から来た方々が嬉しかったことや嫌だったことなどについて知ることができました。嬉しかったことも嫌だったことも、私もされたらそう思うなと感じることばかりでした。考えてみればあたりまえなのに、考えようとしてこなかったのだということを実感させられました。外国から来た方のことを「違う」と決めつけて避けるのではなく、日本での生活をサポートしながらコミュニケーションをとっていくことが大切なんだと知ることができました。これからは、肌の色や顔立ちなどに関係なく、どんな人とも文化などを伝え合っていきたいと思います。そして、たくさんの人と交流できる国際人になりたいです。

とても衝撃的でした。私たちの知らないところでこんなにも感謝していたり、偏見によって苦しんでいたんだと思い、心に残りました。日本と相手の国では、違うことがたくさんありますが、それを受け入れて心を通わせることが大切だと思いました。仙台の街を歩いていると、ときどき外国の方がいて、私の知らない言葉で話しています。私たちは「言葉がわからない」という壁のせいで、異様な目で見えてしまいがちです。エリック先生や ALT の先生方の切実な声を聞いて私もできることから改善していきたいと思いました。また将来、私が世界へ飛び立ったらこうしたいなと夢を膨らませることもできたので、すごくためになりました。エリック先生、櫛田先生、ALT の先生方、素敵なお話をありがとうございました。



